

**グリーンコープは、2027年までにCO2排出0を目指し、取り組んでいます。**



2023年度総代会において確認されました、グリーンコープのカーボンニュートラルを力強く進めていくための原資の組合員拠出が、2025年7月からスタートします。4月からは1%拠出の同意・不同意確認書を組合員の皆さんにお届けし、確認を進めていく予定です。多くの組合員さんから同意をいただけるよう、地球温暖化の影響やグリーンコープの取り組みをシリーズで紹介していきます。

グリーンコープは、設立趣意書で理念として、①いのちを守る、②そのために食べ物を守る、③そのために環境を守る、④つまり地球を守る、ことを掲げて取り組んできました。グリーンコープの歴史は、地球の環境を守ってきた歴史なのです。カーボンニュートラルの取り組みはその集大成ともいえます。今、その地球が大きな危機を迎えています。「みどりの地球をみどりのままで」子どもたちに残していけるよう、組合員の力を合わせて地球を、環境を、食べ物を、そして命を守る取り組みを進めましょう。

## 地球温暖化による気候変動の影響

### 気温の上昇

世界の平均気温は、過去100年間で0.74℃上昇し、近年になるほど温暖化の傾向が加速しています。

日本では、100年間で1.11℃の割合で上昇し、世界の上昇率を上回っています。

### 海面の上昇

世界の平均海面水位も過去100年間で17cm 上昇しています。

### 干ばつ

近年、年間降水量が極端に少ない年が増えるとともに、少ない年と多い年の差が次第に大きくなっています。

### 集中豪雨・大型台風

1日当りの降水量が200mlを超える大雨が増加傾向にあります。

### 洪水

これまで100年に1度の頻度で発生していた洪水が、30年に1度の頻度で発生するなど水災害のリスクが高まることが予測されています。

様々な気候変動をもたらす地球温暖化に、人類の社会活動が影響を与えているのは、ほぼ間違いないと言われています。グリーンコープの環境を守る取り組みは、地球を守る取り組みなのです。

GC青果生産者の圃場でも様々な影響が出ています。

(生産者アンケートより)

- 今年はや夜でも気温が高い。夜温が下がらないので、樹木が休んでいない(弱っている)状態。
- ようやく雨が降ったかと思うとゲリラ豪雨で播種(種まき)や定植した苗などが流されて播き直しをしないといけなくなる。そうすると出荷も遅れる。
- この暑さで着花しないことが多くなっている。また、実がついても暑さが続く影響もあったせいか、一部変形果のようなものも収穫されている。
- ピーマンとししとうは、以前に比べ圧倒的に日焼け果が増えた。そもそも高温すぎて花芽がつかない。
- サニーレタスでは、暑さで生育が進み、とう立ち(茎の頂点に花が咲き、食べられない状態なもの)したものがたくさん出た。標高がかなり高い地域であるのに、とう立ちすることなんて、今までほとんどなかった。高冷地で栽培するメリットも徐々に無くなってきていると思う。
- これまでいなかった変な虫が増えてきた(南方から飛んできてきているよう)。また、雨不足でヨトウムシの発生が多くなってきた。
- 暑さと雨が降らない分、草刈りがかなり大変。例年だと1ヶ月に1回でしているが、今年は2週に1回しても、除草が追い付かず、かなり大変している。

「グリーンコープは厳しい状況の中、支援金や組合員からの励ましもあり、すごく感謝している。心配してくれる方がいるから、今後も続けていく励みにもなった。」という声もいただきました。

グリーンコープでは、生産者が安心して生産できるよう、出荷基準の見直しや、サイズ・形の悪いものでも出荷できるよう規格外の取り扱いなど、相談しながら進めています。



大分県内でも50年や100年に1度と言われるような災害が毎年のように発生し、大きな被害をもたらしています。ニュースでも、線状降水帯や緊急避難情報などの言葉が使われることも珍しくなくなったように感じます。

### 大分県(九州)で発生した自然災害(風水害)

2012年	耶馬溪集中豪雨	山国川の氾濫で下郷農協が大きな被害を受けました
2017年	九州北部豪雨	日田市大鶴地区など、大きな被害が発生しました
2017年	台風18号	津久見市で大規模な浸水被害が発生しました
2018年	耶馬溪土砂災害	前年の大雨が影響したのではないかとされています
2019年	九州豪雨	大分県を含む広範囲で被害が発生しました
2020年	令和2年7月豪雨	日田市(友田、天瀬)、由布市(湯平、庄内)で水害が発生しました
2022年	台風14号	大分西センターのシャッターに被害が発生しました
2023年	九州北部豪雨	日田市から中津市にかけて大きな浸水被害が発生しました
2024年	台風10号	佐伯市で広範囲の浸水被害が発生しました

グリーンコープおおいたでは、災害が発生した際に、支援物資のお届けや被災家屋の片付けのお手伝い、避難住宅からの引っ越し支援など、被災された方に寄り添った支援活動を続けてきました。と同時に、それらの災害の要因ともいわれる地球温暖化について、グリーンコープがこれまで行ってきた環境を守る活動に加えて、さらにできる対策を進めていきます。

カーボンニュートラルにかかる費用の拠出を呼びかけていきます！

なぜ、みんなで拠出しないといけないの？



カーボンニュートラルは一部の人だけでなく全員の問題。組合員一人ひとりが拠出することで、みんなが参加した取り組みになるんだ！



**グリーンコープ生活協同組合おおいた**  
大分県大分市大字寒田415-1  
TEL 097-569-9541  
文責 日隈

